

# こころん 通信

発行:社会福祉法人こころん  
〒969-0101 福島県西白河郡泉崎村大字泉崎字下根岸 9  
TEL:0248-54-1115 FAX:0248-53-3063  
URL <http://www.cocoron.or.jp>

## こころん収穫感謝祭開催

10月10日、直売・カフェ こころやにて、こころん収穫感謝祭を開催しました。秋晴れの良い天気のもと、これまでにないたくさんの方がご来場くださいました。

泉崎幼稚園生のお遊戯で和やかな開幕に始まり、昼からは泉崎第一小学校児童の和太鼓が迫力満点に盛り上げてくれました。泉崎商工会青年部による焼きそばと焼き鳥はすべて午前中に完売、イメージキャラクターのいずみちゃんが応援にかけつけてくれるなど、地元一色で盛り上がりました。

こころんの各施設は日頃の感謝を込めて、メンバーとスタッフが協力して模擬店を出店しました。こころんファームは自家製の焼き芋・丸ごと玉ねぎのスープ、こころん工房はチョコバナナクレープ、なごみの家はコロッケと惣菜、こころやは豚汁・おでん・チョコバナナを販売しました。

また感謝祭恒例のこころん矢部農場「海源卵つかみ取り」は、農場から卵を追加で取り寄せるほどの大人気！地域活動支援センターは、水風船とスーパーボールすくいで子供たちと一緒に楽しみました。(大人の方が夢中?)

こころや店内では、手打ちそば、三種のカレー食べ比べセット、手製のジュースなどの限定メニューを提供するほか、手作り石鹸のプリマリアさんが店頭販売を実施。店内はあふれるほどのお客様で盛況でした。ご来場くださったお客様、ご協力くださった出演者、生産者のみなさまありがとうございました。(植木)



泉崎幼稚園の園児のみんなが元気いっぱいのお遊戯で、開会を盛り上げてくれました。



泉崎第一小学校の和太鼓演奏は、迫力満点!



泉崎商工会の焼き鳥と焼きそばが大人気で完売!



店内はあふれるほどのお客様が。ご来店ありがとうございます!!



お楽しみ抽選会は豪華景品がずらり! ご提供くださった生産者のみなさん、ありがとうございました!



こころや脇のハーブガーデンでは、生産者の玉木さんが寄せ鉢教室を開催しました。



# とうほうすまいる見学

就業セミナーで6月23日、東邦銀行100%出資による特例子会社「株式会社とうほうスマイル」を訪ねました。

同社は平成24年3月、東北の金融機関で初、福島県内の事業所で初の特例子会社として設立されました。現在、22名（うち障がい者15名）が働いています。事業所は福島市飯坂町にある東邦銀行事務センターのビルの中。特例子会社設立にあたり、スロープや車椅子のためのリフトが設置されるなど設備がバリアフリー化されています。

業務内容は、東邦銀行各支店から受注した名刺や伝票・ポスター等の印刷、ゴム印作製、書類の封入、カード発行などです。仕事は各自の能力に分けて割り振りますが、誰かが欠勤しても業務に支障がないよう、全員が様々な仕事を習得しています。

大高敏雄常務取締役から、特例子会社設立時の話もお聞きました。会社にとっても働く社員にとっても初めてのことばかり。障がい特性を理解するなど、取り組むべきことが多く大変だったようです。

用意していた仕事が難しくてできなかった時は、どうやったら作業しやすくなるか仕組みを考え直したり、個人の適性に合わせて担当業務を変えて対応しました。障がい者への対応で迷った時は、養護学校や障がい者の支援機関に助言を求め、覚えていったそうです。同社では障がいのある方に単に職場を提供するだけでなく、「経済的な自立を叶えてもらいたい」と生活面の支援にも取り組んでおり、お金の使い方の相談にのることもあるとのこと。数年で卒業しなければならない学校とは違い、職場での取り組みは時間をかけることができます。あせらずじっくり成長を待つことも必要ですし、待てることが特例子会社の強みでもあるのでしょう。

「とうほうスマイル」という社名は、「みんなが笑顔で働ける職場に」という願いがこめられているそうです。その名の通り、ひとりひとりが持てる力を十分に発揮し、イキイキと笑顔で働くことができる会社でした。

(今宮、植木)



大高常務を囲んでロビーで記念撮影。「こんな会社で働いてみたい！でも福島市は遠いなあ」と感激の声が続出でした。



障がいがあってもなくても、みんなが働きやすい職場。「とうほうスマイル」の取り組みについて、みんな熱心に聞いていました。



知って  
おきたい

## 特例子会社ってなに？

事業主が障がい者の雇用に特別の配慮をした子会社を設立し、一定の要件を満たす場合に、その子会社に雇用されている労働者を親会社の実雇用率に算定できる制度です。特例子会社を持つ親会社、関係する子会社も含め、企業グループによる実雇用率算定できます。

事業主にとっては、障がいの特性に配慮した仕事の確保・職場環境整備を特例子会社に集中できるメリットがあり、職場定着率の向上も期待できます。雇用される障がい者にとっては、配慮された環境で働くことで能力を発揮しやすくなるメリットがあります。

### 【特例子会社の条件】

- ① 親会社との人的関係が緊密であること。(親会社からの役員派遣等)
- ② 雇用される障がい者が5人以上かつ従業員に占める割合が20%以上。また、雇用される障がい者に占める重度身体障がい者、知的障がい者及び精神障がい者の割合が30%以上。
- ③ 障がい者の雇用管理を適正に行うに足る能力を有していること。(障がい者のための施設の改善、専任の指導員の配置等)
- ④ その他、障がい者の雇用の促進及び安定が確実に達成されると認められること。

# おふたりの方から体験談をお聞きしました



大学院生の時、くも膜下出血で倒れ、失語症になりました。言葉を話せないだけでなく、相手の言葉を理解するのが難しくなりました。

卒業後、障がい者合同面接会に参加し、「とうほうスマイル」に興味が出てきて、そこで働きたいと思いました。

入社して、はじめは障がい者たちの中で働くことに戸惑いがありましたが、仲間とコミュニケーションをとるようになり、ストレスが無くなってきました。自分自身も、だいぶ話ができるようになりました。

現在、小切手、手形の発行の仕事をしています。できることもあるし、できないこともありますが、自分ができることをひとつずつがんばります。



高校3年の時、心臓の病気で倒れました。以来ペースメーカーを入れています。「無理をするとまた倒れるかもしれない」と医師から言われていて、担任の勧めもあり、障がい者雇用で配慮を受けながら体調に無理のない範囲で働くことに決めました。

現在も、定期的に会社を休んで通院させてもらっていますし、もしもまた倒れたとしてもこの会社にいればサポートしてもらえるという安心感があります。

病気になるまでは障がい者と係わる事がなかったのですが、自分の病気と向き合い、いろんな障がいを持つ人がいることを知り、共に働く中で相手を受け入れていくように努めています。毎週木曜日には社内で手話の勉強会があるので参加しています。少しずつ覚えてきて、耳が聞こえない同僚と上司の話の通訳をすることもあります。

## ちょっと寄り道・見学の後に…

見学した後はちょっと寄り道して、二本松市の「たくみ農園」で昼食にしました。僕たち同様、精神障がい者の方も働いている自然派レストランで、特例子会社「株式会社アイエスエフネットハーモニー」が運営しています。

すっきりした店内で、ビュッフェスタイルのお店で、60分、1000円で食べ放題です。和食、洋食、中華、デザートと一通り揃っている料理を皆は食べまくっていましたが、おじさんの僕は少しの量でお腹いっぱい…残念。

「とうほうスマイル」見学で、退職した人の理由について質問した時の、「その方が『自分は障がいを持っていない』と言っていた。障がい者として働くことを受け入れられなかったのかも」という話が心に残りました。

僕自身、22年前「なんで俺が精神病院に通わなくてはならないんだ。」と思っていたからです。辞めていった人と昔の自分は同じなんじゃないかと思いました。自分の病気を認め自分自身を自分がよく理解していかなくては前には進めないのかもしれない。「とうほうスマイル」ほどの整った環境の中でさえ働くということを放棄してしまうのですから。

僕自身は、こころんで働くようになり、「自分」というものが少しずつ出来てきたのかもしれない。自分を知り、そのうえで自分はどう生きていきたいのかをよく考え、そして自分にとっての幸せとはなにかを見つけていきたいと思います。見学会がきっかけで、ゆっくり考えることができました。

明日からまた忙しい毎日に戻ります。よし、俺も頑張らないとな。(小林茂美)



今年で3年目になった『那・須・朝・市』。こころんファームの初めての出店は、那須にある森林ノ牧場さんがきっかけでした。こころん工房とお菓子の共同開発に取り組んできたご縁で、出店してみても声をかけていただいたのです。

こころんファームが那須朝市に参加する目的は、福島県原発による風評被害の打破・PRそしてさらなる販路拡大です。

10月24日・25日のイベント開催当日の早朝は気温も低く、2日目にはテントが飛んでいくくらいの強風になりましたが、メンバーさんが一生懸命に販売したり、お客さまと笑顔で会話をしたりしているのを見て私も笑顔になりました。日頃畑で育てている野菜たちがお客様の手に渡る瞬間を味わう喜びもイベントの醍醐味です。隣で販売している人や開催している人との交流もあり、とても充実できる外販でした。

このイベントから生まれた「Chus(ちやうす)」は、直売所・ダイニング揃えた実店舗で黒磯にあります。9月からこころんもこの店舗に野菜やお菓子、卵を納品しています。那須にお越しの際は、ぜひお立ち寄りください。(磯野)



### 「ノウフク」をこころんがPR!

農福連携プロジェクトの活動を紹介するホームページ「ノウフク」に、実はこころんファームの写真が使われているのです。ぜひ見て下さいね。

<https://www.facebook.com/noufuku>



みんなの笑顔が輝いているね!!



### 障害者が農業の担い手となる「農福連携」が広がる

農福連携の取り組みを全国に発信していこうと、キックオフイベント「農福連携マルシェ」が6月22日、農林水産省前の駐車場で開かれ、こころんをはじめ全国から4つの事業所が参加しました。

農福連携とは、農家の減少や高齢化により耕作放棄地が増えている中、障がい者が農作業を行い安定した就業の場とするもので、生産から食品加工、流通販売まで手掛ける「6次産業化」を進め、障がい者の力を幅広く活用する社会福祉法人や農業法人が増えています。農業も福祉も課題を解決できる取り組みとして広がりを見せ、両省では農園整備費の補助などの支援も行っています。

当日は林農林水産大臣、塩崎厚生労働大臣、や副大臣、政務次官などが参加され、「農福連携マルシェ」キックオフセレモニーに出席するとともに、障がい者就労に取り組む事業者による農産物等の販売会を視察しました。

参加した厚生労働省の塩崎恭久大臣は「障がい者が参画することでより豊かな農業になってほしい」、また農水省の林芳正大臣は「攻めの農業の一つとして一生懸命サポートしていく」と挨拶をしました。

お昼休みの1時間でしたが、売り切れ続出の大盛況。実際に農作業等に携わる障がい者の方を始め、全国各地から大勢の方が販売会に参加されました。(熊田)

# 活・動・報・告



## 施設交流旅行

9月1日・2日の施設交流旅行で、那須どうぶつ王国と羽鳥湖・レジーナの森に行ってきました。どうぶつ王国に着くとまずバーベキューガーデンで、牛・豚・鶏・ラム肉や野菜が食べ放題。お肉が好きな私にとっては嬉しいことで、おなかいっぱい食べました。

カピバラの森では、2013年全国カピバラ人気投票でナンバー1に輝いたシフォンちゃんに会えて良かったし、人懐っこい大型犬やうさぎとふれあい、癒されました。

私がビックリしたのはネコのショーです。ネコはショーには向かないと思っていたから！玉乗り、輪ぐり、ジャンプなどいろんな芸を見せてくれました。ショーの後は、ワンニャンバスに乗って王国ファームに移動。アルパカやラクダにエサやりをして楽しかったですねえ～！

レジーナの森では、ドーム型のコテージで、自然との一体感を味わうことができました。温泉では「壺湯」に入りましたが、五右衛門風呂

みたいで面白かったです。夕食は本格的なディナー。中学校で教えてもらったテーブルマナーを思い出しながら、おいしく食べました。翌朝は湖のほつりを散歩し、レジーナの森の看板犬「ジーナちゃん」に会うことができました。シロクマのような存在感あふれる大きな体のグレート・ピレニーズという種類の犬です。

私はどうぶつ王国が大好きで、いつかころんのみんなど一緒に行きたいとずっと思っていました。今回、夢が叶い、いい思い出ができました。ありがとう！（さやぴー）



## 映画鑑賞

10月23日、レクリエーションでフォーラム那須塩原に映画を観に行きました。女子高生の恋愛コメディ「ヒロイン失格」と高校生ふたりがコンビを組んで漫画家を目指す「バクマン。」のふたつに分かれてみました。

私は「バクマン。」を観ました。とても迫力のあるCGでのシーンや、たくさんのアニメキャラが出てきて、最後まで飽きずに観られました。また、キャストのメンバーが好きな俳優も出演した作品だったので、ころんのレクリエーションで観に行けて嬉しかったです。



それから、メンバーさんと写真も撮って、買い物もして、交流できて良かったです。また、映画のレクリエーションがあったら、また参加したいと思いました。（志菜）

## 服薬あるある

私はいつの頃からか頓服に依存し、決められた回数、時間を守らず頻りに飲むようになっていました。（発病以来か？30年くらいになる。恐ろしいことだ）。今年夏、スタッフと主治医に相談し、頓服としてではなく毎食後に決められた量を飲むことにしました。

それから、薬との付き合い方の戦いです。ころんや勤務している間は、お客様、店長、メンバーさん等々の目が気になり、緊張し顔がこわばってきてしまいます。それで頓服を頻りに飲んでいたので……。現在はスタッフに服薬の管理をしてもらっています。徐々に頓服が減ってきました。休日は頓服なしでOKです。顔のこわばりが気なくなりました。

まだまだ時間がかかりそうですが、小生、薬依存脱却を目指し、スタッフの手を借りて孤軍奮闘中の毎日です。（栄）

●●● 投稿募集中！ ●●●

ころん通信編集委員会では、みなさんの投稿を募集しています。服薬に関するエピソードをぜひお寄せ下さい。

宛先：ころん通信編集委員会（根本、植木）



## 施設だより

～こころんの各施設の近況をお伝えします

### こころんの3種カレーセット新発売！●こころや

こころやに新商品が入荷しました。おなじみのこころん鶏を使用した「グリーンカレー」「レッドカレー」に続き「イエローカレー」の登場です。

かぼちゃをベースにしたやさしい甘さのカレー。辛いのが苦手な方や小さなお子様に喜ばれそうです。東日本大震災で飯館から福島市に避難した「までい工房 美彩恋人」のかーちゃん達が故郷の味を伝えるためにつくったカレーだそうです。

☆お知らせ☆11月21・22日のこころんチャリティアート展開催日、こころやのカフェメニューで、このカレー3種味くらべセットをご用意する予定です。気になる方はこの機会にぜひお試しください！（石井）

食べくらべ!!こころんの3種カレーセット⇒  
税込 1,620円



### こころん工房を紐解く●こころん工房

こころん工房は2011年5月に産声を上げました。当時は未曾有の大震災の後でもあり、製菓工房の新設も大幅に工期が遅れ、心落ち着かない中でのスタートでした。それまで、こころやのカフェで製菓を担当していた僕は、新しくできるこころん工房のルール作りにやっき、紆余曲折の毎日でした。

始めの頃は利用者2名と僕で作業をしていました。チーズケーキ、スコーン、型抜きクッキーetc、僕はお饅頭を作っていました。こころんの農産物を作ったお菓子を作ろうとプリン作りを始め、福島県授産事業振興会主催の「平成25年度授産施設新製品（商品）開発コンクール」に参加したところ、こころん工房の「かぼちゃプリン」が金賞を受賞できました。この受賞は、こころん工房史上何にも代えがたい誇りになっています。

工房開設から4年半が経ち、当初のメンバーで残っているのは寂しくも僕ひとりですが、当時の立ち上げの理念は消える事の無い芯となっております。そして、今も「誠実にお菓子を作る」と心がけて、一さじの炎を灯しています。(Mickey)

#### こころん工房のプリンがリニューアル！



こころん工房のプリンが新しくなりました。那須の山で放牧してジャージー牛を育てている「森林ノ牧場」の牛乳を使用し、より濃厚で深い味わいになっています。

「かぼちゃプリン」「たまごプリン」「ホワイトプリン」の3種、価格は350円に統一しました。ギフトボックス(4個用)もあります。新しくなった味わいたっぷりのプリンをぜひご賞味下さい。

## 家族の思い出とあけぼの荘

あけぼの荘に住むようになり、早いもので10年が経過しようとしております。私なりに良い加減で生活している今日この頃です。

そんなある日、グループホームスタッフから執筆を依頼され、ちょっとためらいましたが、私の部屋のこたつに足を入れ、暖かさを感じ、延いては幸せな日々を送ることができているなあ・・・なんて思えてきたので、何となく引き受けてしまいました。

私は65歳。今日まで、なぜ、このように健康で幸せな人生を歩むことができているのか。それは家族、周りの人達のおかげです。そこで、私の家族の思い出を述べます。

私の生まれたところは会津寄りの天栄村湯本というところ。冬季は嫌になるくらい、雪が降ります。

「おーっ、寒い、すごい吹雪だ。もうちょっとで家に着くから。辛抱なさい。」小学校一年生の私を学校まで迎えに来て、私を抱っこする京子姉さん。姉さんにしがみつく私。京子姉さんには今でも頭が上がりません。

酒を飲んでいる父が大声で騒いでおります。「早く、醤油を持ってこい。」「切らしてます。」と母が返答すると、さらに大声で「だったら向かいの家からもらってこい。」と更に声を荒げる父。しかし、酒を飲まなければ優しい父。そんな父にも献身的で働き者の母。母はいつも、どんな時も私を守ってくれました。

このように家族の‘愛’があるからこそ今日の私があるのです。あと、忘れてはいけないのがあけぼの荘と仲間たちの存在です。ここは、冷え切った心に暖かい光を差し込んでくれております。そして私を健康に、かつ、元気にしてくれます。

家族、あけぼの荘、仲間たちに対する感謝の念を忘れずに、これからも私の人生を笑顔で歩んでいこうと思っております。(星 昭二)

## こころんに通い始めて●こころん活動センター

私は、平成26年8月より利用を始めました。しかし、最初のうちは何とか来れたものの、9月の下旬より足取りが遠くなり、10月からは全く来なくなりました。その時期が一番苦しかったのだと今は思います。改めて来るようになったのは、平成27年5月頃。正直、一度離れた場所に戻るのには心苦しいものもありましたが、家族の支えや職員の方々のあたたかいご支援もあり、今ではきちんと通えるようになってきました。

こころんに通い始めて感じたことは、自分の視野の狭さでした。様々な人たちが様々な事情を抱えているこころんという施設に通うようになって自分がどのような段階なのか、どうしていけばいいのかが見えてきた気がしています。



### こころんの風景

こころやの隣・畑の片隅に咲いた1輪のひまわり。夏にこころやのお客様を楽しませていた大輪から、こぼれ落ちた種。



この秋の温かさに、1本だけ育ち、花を咲かせました。

冬も近づいてきましたが、「まだまだがんばろうぜ！」と励ましてくれていたみたいです。

それは、うつという病気に対して「あせらないこと」と、「ゆっくりと向き合う」ということです。今の自分を受け入れ、時間をかけてでも治すということが重要であるということが分かりました。焦っても、無理をしても、うまくいかないのを自身で実感できたのです。

このことは、仕事をする上でも必要なことだと思います。現在こころんに通ってその訓練を行っていますが、いつ終わるのか全く分からないこの病気に対しても、いつか社会復帰をした時に、今の経験は大きな財産になるのだと信じ、毎日乗り越えていこうと思ひ、頑張っていきます。(K.F)

# こころやに内堀知事が来訪！

福島県内で活動している様々な団体の現場を訪問し、県民のみなさんへ声を直接聴くことを目的とした「チャレンジふくしま訪問」の一環として9月3日、内堀雅雄 福島県知事が直売・カフェこころやを視察しました。

今回の訪問目的について「障がい者たちの働く姿をみたかった」とする知事に対し、熊田施設長は直売所の運営など、施設の活動状況を説明しました。また、こころや裏手の畑で作業するこころんファームにも立ち寄り、スタッフの案内でビニールハウスの中まで見学。農業と福祉の関係性について理解して頂きました。

内堀知事は、こころやとファーム働くメンバーや生産者に気さくに声をかけて下さり、激励を受けたメンバーはみな、より仕事に熱が入ったようでした。



カフェでは、こころん工房のチーズケーキを試食しながら歓談。「これは美味しい！」と褒めて頂き、感激！

## 寄付・寄贈をいただいた方 (順不同)

【寄附金】 相原 茂 様



## ■□■こころん後援会にご入会ください■□■

社会福祉法人こころんは、障がいのある人びとが、地域の中で安心して生活できるよう、「障がいのある人も無い人も安心して暮らせる地域作り」を目指しています。こころんの活動に賛同しご協力頂ける会員を募集しています。会費は無料です。ぜひご入会下さい。

### \*会員について

この会に賛同する個人及び団体または事業所を対象とします。

会員の皆さまには会報や各種行事等のご案内を差し上げます。(行事にボランティアで参加することもできます。)

活動報告		編集後記
8月10～15日	こころや：花市・桃まつり	<p>こころんの秋といえば、「収穫感謝祭」「チャリティ・アート展」の二大イベント。毎年恒例となった「収穫感謝祭」は9回目を迎え、1,000人に迫る来場者の賑わいのもと大盛況で終了しました。</p> <p>回を重ねるごとに来場者が増えて嬉しい限りですが、まだ知らない方、行ったことがない方もいると思います。</p> <p>編集員一同、こころんの魅力、活動を伝えることができるように、これからも取り組んでいきます。(根本)</p>
9月1・2日	施設交流旅行(羽鳥湖・レジーナの森)	
9月19～23日	こころや：お彼岸セール	
10月4日	なすかしの森ファミリーフェスティバル出店	
10月10日	こころん収穫感謝祭 at こころや	
10月23日	映画鑑賞(フォーラム那須塩原)	
10月24・25日	那須の朝市出店	
10月25日	矢吹病院祭出店	
10月25日	家族学習会(第1回/5回)	
今後の予定		
11月21・22日	こころんチャリティアート展	
12月21～30日	こころや：歳末大売出し	
12月28日	大掃除	
1月6日	こころや：営業開始	
1月9日	こころや：新年大売出し	
1月初旬	新年会	